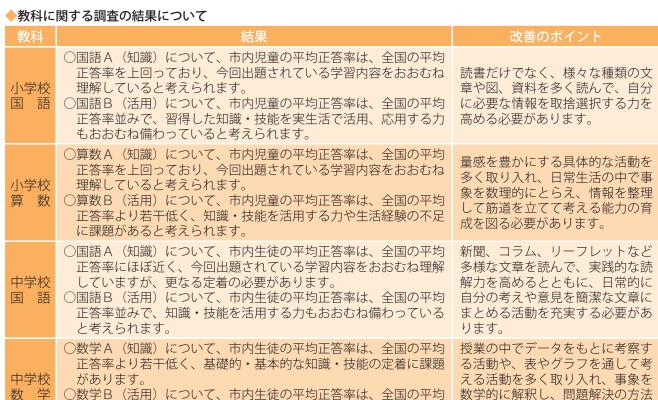
平成21年度「全国学力・学習状況調査」の結果を公表します

文部科学省は、今年4月21日に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果等を公表しました。市教育委員会では、市内児童生徒の学力状況を知っていただくために市民の皆さんに広くお知らせします。

なお、この調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であり、学校における教育活動の一側面を調査したものです。

◆調査の内容

- (1) 教科に関する調査
 - ・A問題(国語A、算数・数学A)…主として「知識」に関する問題
 - ・B問題(国語B、算数・数学B)…主として「活用」に関する問題
- (2) 質問紙調査 (児童生徒に対する調査)
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する意識及び調査



〔前年度との比較〕

る力に課題があります。

小学校は、A問題、B問題ともに前年度より伸び、中学校も、A問題、B問題ともに前年度より伸びました。特に、中学校の国語Bは大幅に伸びました。

◆児童生徒質問紙調査の結果と教科に関する調査の結果との比較による分析結果

正答率より低く、全国の傾向と同様、知識・技能を活用、応用す

- ●主な傾向
- ○朝ごはんの摂取、早寝早起きなど食生活や生活のリズムが安定・確立している児童生徒は、そうでない児童生徒 よりも教科の正答率が高い傾向にあります。
- ○授業でノートを丁寧にとることができる児童生徒や、文章を書くことが好きな児童生徒は、教科の正答率が高い 傾向があります。
- ○学校の決まりや友達との約束を守るなど、規範意識の高い児童生徒は、教科の正答率が高い傾向にあります。
- ●主な課題
- ○市内の児童生徒は、平日の家庭学習時間よりも土日の家庭学習時間の方が短い傾向にあり、土日の家庭学習時間 の確保が課題となっています。

【問い合わせ】市学校教育課(6階) 🕿 0994-31-1137



を考える学習を充実する必要があ

ります。